«RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン»

2025年度の募金による「音の出る信号機」を設置

「音の出る信号機」贈呈式＆渡り初め式

2025年度の「第18回 RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で皆様からいただいた募金総額は657万2,977円。
この募金で『音の出る信号機』を 広島県内に新たに3基、設置することができました。
設置場所は、廿日市市下平良1丁目「廿日市市役所（南）交差点」、福山市霞町1丁目「霞通り交差点」、
広島市安佐南区伴東2丁目「伴駅（西）交差点」の3箇所です。
10月23日（金）にRCC本社で広島県警への「贈呈式」を行い、午後には稼動。
廿日市市の「廿日市市役所（南）交差点」では、橋本莉奈アナウンサーとともに、
地域の目の不自由な方や視覚障害者団体の役員の方々が「渡り初め式」を行いました。
今回の信号機設置で、「チャリティ・ミュージックソン」による『音の出る信号機』の寄贈は 合計52基となりました。
なお、今年度も「第19回 RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」として、11月1日に募金をスタート。
12月24日～25日には、24時間の特別番組で皆さまにご協力を呼びかけます。

渡り初めの様子（廿日市市役所 南交差点）

市役所とゆめタウンの間の交差点で交通量も多く、
視覚障害者の方々の利用頻度も高い場所です。

RCC 宮迫社長から
広島県警 坂本交通部長に目録を贈呈。

ラジオカー中継では、目の不自由な方から
音の出る信号機への感謝と喜びの声が聞かれました。

今回の３基の設置により、
広島県内に音の出る信号機は、計351箇所となりました。
「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」では、
52基の『音の出る信号機』の設置となりました。

■今年も11月1日から募金受付開始